

PDCAチェックシート

実施年度	令和 6 年度				
事務事業名	地産地消推進事業		担当課名	教育総務課	
【Plan】計画		【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善	
■目的 地場産物を積極的に活用し、学校給食を通して、伝統的な郷土料理等を継承していくために、地域の食への興味や関心を高めることを目的とする。併せて保護者を含め、市民に対しても給食の内容を市HPに掲載し、周知を行う。 また、第4次食育推進基本計画に基づき、引続き地産地消率の維持と向上を図る。 ■成果指標(アウトカム・KPI) ※ 【目標値】 ・地産地消率 R5実績値(45.7%)を上回る。 ・地元食材使用回数 160回 【達成値(R6実績値)】 ・地産地消率 47.0% ・地元食材使用回数 年間献立数199回の内 174回		■具体的取組 子ども達に地元の郷土料理や行事食に対する興味や関心を持ってもらえるよう「ふるさと給食」のほか記念日給食の日等を設け、メニューの写真やレシピ等を市HPに掲載することにより、取り組みを広く周知する。また、東かがわ市産や県内産品を中心に、積極的に新鮮な旬の食材を利用した給食を提供した。 学校内では、給食の喫食中に「給食パクパククイズ」などを放送して、地元食材についてより身近に感じられるよう工夫を行った。 ■インプット(投入金額等) 事業費等 ■アウトプット(数量等) 実施回数等 ・地産地消率 47.0% ・地元食材使用回数 年間献立数199回の内 174回		■成果指標の具体的検証結果 (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載) 令和6年度の地産地消率の実績は、対前年比1.3%アップの47.0%であった。 地元の旬の食材を積極的に取り入れることにより、子ども達や多くの方に地場産品の食材についての認識を深め、啓蒙啓発を行うことができた。一方、食材の調達については、価格の高騰や天候不順により必要量の確保に困難を要する場面もあり、今後の課題が残る。 ■検証結果を受けての具体的対応 天候不順や生産者の高齢化等によって、地場産品の確保が困難な状況もあり、地元食材の使用は、現在の水準を維持しつつ、年間を通して安定した供給ができる販路を開拓する必要があるため、仕入れ先の選定に取り組みたい。 ■評価 現状維持	

※KPI … 重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。